

健康長寿復活に どう取り組むか

答 町民に周知啓発を行っている



赤嶺 雅和 議員

問 健康長寿復活事業はどのような事業か。

副町長 内臓脂肪は種々の生活習慣病を引き起こし悪化させる。内臓脂肪の減少に向けた取り組みとして

① 個々人に野菜と油の基準量を伝える

② 食品に含まれている油の量を伝える

③ 油を使わない材料を伝えるの三点を柱としている。特定健診やさまざまな健診等の場で保健指導の教材として利用していく。

問 本町では長寿復活に向けてどう取り組むか。

副町長 内臓脂肪の改善が優先課題である。具体的な取り組みとして平成24年から一括交付金を活用して油・野菜・砂糖の摂取量についてポスターを作成した。健康レシピカレンダーの全世帯配布や公用車のラッピング等で町民に周知・啓発を行っている。

強化型パイプハウス補助事業申込状況は

問 強化型パイプハウス補助事業のヘチマ用ハウスとスターフルーツ用ハウスの設置は何件の申込があるか。

副町長 地域農業活性化事業のヘチマハウスにおいて平成24年度は5件、25年度は3件である。26年度にスターフルーツ用ハウスを希望している農家は15件中10件が施設整備を進めている。今回補助から漏れた農家については、受給要件の整備状況の確認と併せて次年度以降に対応できるように計画していく。

登下校時の安全を問う

問 翔南小学校の子どもたちの通学路に県道86号線がある。途中で片側幅員が狭くなって片側通行となっており、非常に危険である。早期な改善を要求する。



翔南小学校通学路の県道86号線

町長 県道86号線の喜屋武91番地付近の未整備箇所は大変危険である。県との協議において、早急に取り組むよう要請している。しかし、まだ解決していない。今後も早期解決に向けた要請をしていく。